



つながる

R7. 5. 30(金) №5 立野 健一

令和7年度荒尾第三中学校4月 MVS 表彰 給食委員長、給食副委員長

プロスポーツの「MVP（最優秀選手→モスト バリュアブル プレイヤー）」になぞらえ、三中版「MVS（モスト バリュアブル スチューデント）」を本年度、設けました。まずは4月、次は夏休み前の7月、前期終了時の10月、冬休み前の12月、3年生の卒業前の3月の合計5回行います。先生方の推薦により決定します。推薦された生徒全員に「MVS 表彰状」を、そのなかで学年で一番推薦票が多かった生徒に「学年 MVS 表彰状+マジックキーのピンバッヂ」を、そして学校全体の中で一番推薦票が多かった生徒に「学年・学校 MVS 表彰状+マジックキーのピンバッヂ+MVS の名入りボールペン」を贈呈します。

今回は全校生徒556名中29名が推薦されました。今回の4月はどちらかというと「人知れず、地道に学校・全校生徒・学級・地域住民に貢献している生徒」を中心に推薦されていました。

4月の学校 MVS は給食委員長と給食副委員長が同数で2名表彰されました。推薦理由は以下の通りです。

- ・4月は給食委員が決まっていないので、委員長・副委員長がコンテナ室の仕事をすべて行っていた。
- ・忘れた学年、学級のフォロー、週末の布巾の洗濯、牛乳の仕分けを嫌な顔一つせずに取り組む。
- ・給食コンテナ室のカギを職員室に取りに来るときの挨拶が、とても清々しい。
- ・仕事に対する責任感の強さ。あるパンの日、「牛乳で流し込んできました。」と言って、コンテナ室に駆け込んでくる姿に感心。

受賞した二人に話を聞いてみたところ、次のような返答がありました。

- ・周りをしっかりと見て行動し、最後までやりきることを意識しています。（今回受賞して）やっててよかったです。
- ・残った汁とかがこぼれていなかなど、周りへの影響を気にしています。また、（準備や片付けが）遅いクラスがないかどうか気配りをしています。（今回受賞して）正直びっくりしたし、自分の努力が認められてよかったです。

ほぼ毎日ある給食がスムーズに配膳できているのは、この二人の働きぶりが大きく関わっていることは間違ひありません。本当にありがとうございます。これからもよろしくお願いします。また、表彰された29名全員、本当にありがとうございます。こうやって支えてくれているおかげで、学校生活は成り立っています。今後も学級・学年・学校・地域に貢献し、輝いてほしいと思います。

この二人以外にも陰で支えてくれている生徒はたくさんいます。表に立って、しっかりとリーダーシップを発揮している生徒もたくさんいます。今回表彰はされなかつたかもしれません、あなたが頑張っていることは学校の誰かの笑顔・笑い声になっているはずです。継続してくれたらうれしいです。

次回は7月。夏休み前の全校集会で表彰します。

6月5日(木)～6日(金)前期中間テストに向けて

あるアメリカの調査結果です。「結果を残す一番の方法は・・・・？」さてなんだと思います？

実は、「最後までやりきること」だそうです。何か、ありきたりな答え、当たり前すぎる答えのように聞こえませんか？でも、本当にこれが結果を残す一番の方法のようです。結果を残している人たちが特別なことを行っているわけではありません。「これをやろう」と決めたことを最後までやりきることが一番大切なことのようです。まさに、荒尾三中が実践していることですよね。

定期テストの取組の際は、必ずミッションという学習計画表を作成しています。その計画表を最後までやりきることが結果を残す一番の近道です。計画→実践→改善、これを繰り返しながら、一つ一つのことをやりきっている人のことを「自立型人間」というのです。どうせやるなら、残り1週間。やりきってみませんか？「もうこれ以上はできない」「これで悪かったら仕方ない」と思えるように、ミッションをやりきってください。体育大会の学びを体育大会だけで終わらせない！期待しています。

さて、6月4日(水)までの昼休みや放課後17:30までの時間、校長室にて数学のみですが、質問を受け付けます。当然ながら私がいる時だけです(出張が多いので)。校長室入り口に、校長の居場所プレートがありますので、「在室(中へどうぞ)」のときは遠慮なくノックをしてください。一度に5人まで対応可能です。繰り返しますが、数学のみです！楽しみにお待ちしております。



三中重点目標 4・5月「つながる」

5月も今週で終わりです。来週は6月。6月にはまた重点事項が発表されます。その前に、4・5月の振り

返りをしてみましょう。具体的な事項として「自分から進んで挨拶」「色々な人とコミュニケーションをとる」「団やクラスの為に力を尽くす」が掲げてありました。

自分が心を開かなければ、相手は心を開かないと思います。その一歩を踏み出さなければ「つながる」ことはできないと思います。朝から正門付近に立っていると、「自分から大きな声で挨拶」をする生徒が非常に多いです。緑ヶ丘小の校長先生もよくおっしゃいます。「団やクラスの為に力を尽くす」姿は、体育大会の様子や、MVSの表彰から十分伝わってきました。「色々な人とコミュニケーションをとる」ことですが、クラスの中では話したことのない仲間と話す事ができたかもしれませんね。同じ団の先輩・後輩とも話ができたかもしれません。解団式で肩を組んで盛り上がる様子に表れていたように思います。総じて、4・5月「つながる」という重点目標は達成できた・・・・というよりは達成の第一歩を踏み出しができたといったところでしょうか。学校の現状を捉え、先生方が決めた重点目標ではなく、生徒自身で考えた重点目標に向かって具体的な取組を進めること。「自立」「自律」「主体的」ということです。

6月はどんな重点目標が掲げられるか、これまた楽しみで仕方ありません。

○玉名・荒尾中体連大会

6月14～15日(野球・サッカー・バドミントン・ソフトテニス)※野球・サッカーは21日まで。

6月21～22日(バスケットボール・女子バレーボール)

6月21日のみ(卓球・テニス・空手道) 22日のみ(男子バレーボール・剣道)

※柔道・体操・新体操・陸上競技・水泳は統一県大会です。